

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第18週（令和7年4月28日～令和7年5月4日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第18週は、腸管出血性大腸菌感染症の報告が9件ありました。本疾患の一般的な症状は腹痛、水様性下痢及び血便で、乳幼児や高齢者など抵抗力が弱い人は重症化することがあります。また、感染しても発症せず、知らずに感染を広げることがあります。腸管出血性大腸菌は食肉等に付着しており、主に生肉や加熱不十分な肉を食べることで感染するほか、患者の便で汚染された手を介して、人から人に感染します。家庭内や集団生活では感染拡大しやすいため、調理時、食事前、トイレやおむつ交換の後は、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihe.s.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	16	239	225	4,160
腸管出血性大腸菌感染症	9	30	32	419
A型肝炎	1	5	2	47
チクングニア熱	1	1	0	5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	33	10	542
後天性免疫不全症候群	1	13	8	244
侵襲性肺炎球菌感染症	1	55	77	1,583
梅毒	8	267	157	4,279
百日咳	87	764	2,176	11,921

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル（※）

：注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	89	0.73	0.79	5,360	1.39
インフルエンザ	90	0.74	0.62	4,209	1.09
急性呼吸器感染症	5,296	43.41	0.90	237,731	62.18
RSウイルス感染症	52	0.74	0.66	1,686	0.72
咽頭結膜熱	38	0.54	1.03	923	0.39
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	196	2.80	0.73	6,672	2.83
感染性胃腸炎	591	8.44	0.79	19,774	8.39
水痘	23	0.33	0.88	1,138	0.48
手足口病	10	0.14	1.25	247	0.10
伝染性紅斑	72	1.03	0.95	3,073	1.30
突発性発しん	38	0.54	1.03	850	0.36
ヘルパンギーナ	1	0.01	0.50	67	0.03
流行性耳下腺炎	11	0.16	2.75	209	0.09
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	25	0.04
流行性角結膜炎	7	0.27	0.37	630	0.91
細菌性髄膜炎	1	0.07	—	6	0.01
無菌性髄膜炎	1	0.07	—	17	0.04
マイコプラズマ肺炎	3	0.20	1.50	133	0.28
クラミジア肺炎	0	0.00	—	2	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	2	0.13	2.00	84	0.18

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。